

## 会 議 議 事 録

1 会議名	第2回長岡市新しい市役所検討市民委員会
2 開催日時	平成19年6月19日（火）午後3時30分から午後5時まで
3 開催場所	長岡市役所4階大会議室
4 出席者名	委員：原会長、田村副会長、井上委員、小川委員、金子委員、 鯉江委員、齋藤委員、小熊委員、小坂井委員、外山委員、 樋口委員、福田委員、三上委員、渡辺委員 市側：二澤副市長、総務部長、都市整備部長、まちなか整備課長、 企画部長、中心市街地活性化推進室長、財務部長、用地管 財課長、行政管理課長（事務局） ほか関係課長
5 欠席者名	関川委員
6 議題	(1) 市民委員会の検討内容の整理について (2) 新しい市役所のあり方について (3) 新しい市役所の目指すべき姿と実現に向けた検討について (4) その他
7 審議結果の概要	・ 新しい市役所のあり方について、意見交換を行った。
8 審議の内容	(別添次第及び資料に基づき議事を進行した。以下に要点を記す)  1 開 会 ・ 市議会に「新しい市役所調査検討委員会」が発足したことに伴い、当該委員会の正副委員長が本委員会に出席することになった。これにより、市議会選出の委員は、五井委員と山田委員から、小熊委員と小坂井委員に交代する。  2 前回のまとめ (1) 意見の整理と本日の趣旨について ・ 第1回の委員会であった主な意見として、「どのような市役所を目指すのか検討の軸を明らかにすべき」、「開かれた市役所の観点から一定の分散が望ましい」、「市民が不便になってはならない」、「事
行政管理課長	

	<p>務局で作成した素案を元に議論すべき」といった意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今回はこれらの意見を踏まえ、検討を進めるにあたっての軸として新しい市役所に関する考え方の事務局案をまとめたので、ご意見をいただきたい。また、前回要望のあった行政機能再配置検討市民委員会での検討資料や、まちなか全体の計画等が分かる資料を用意したのでご覧いただきたい。</li> </ul> <p><b>(2) 要望のあった資料について</b>  (行政管理課長より「長岡市本庁組織の機能上の分類と規模」、「配置パターンの総合比較」を、まちなか整備課長より、「大手通り周辺図」、「まちなかの現状①・②」を説明。これに対する質問・意見等はなし)</p>
行政管理課長	<p><b>3 議事</b></p> <p><b>(1) 市民委員会の検討内容の整理について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本委員会のご意見をお聞きしながらまとめる「新しい市役所プラン（仮称）」のイメージをまとめた。</li> </ul> <p>(資料1「市民委員会の検討内容の整理について」に基づき説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中間報告では、序章、第Ⅰ章及び第Ⅱ章の概略までを示すことを目標にしたい。</li> <li>本委員会では、特に「Ⅰ.新しい市役所の基本的な考え方」、「Ⅱ.新しい市役所の機能及び空間構成」を中心に議論していただきたいと考えている。</li> <li>本委員会では、新しい市役所の考え方や備えるべき機能等について、ご意見・ご提案をいただきたいという趣旨である。現在、市役所内部でも検討体制を組んでおり、本委員会と連携をとりながら検討を進めていきたいと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>本委員会では、新しい市役所プランのⅠ・Ⅱのみを対象に議論するということか。</li> </ul>
行政管理課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>もとよりプランの全体を見ていただくが、特に議論いただきたいのはⅠ・Ⅱの部分が中心と考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>「Ⅲ.新しい市役所のプランの実現に伴う効果」とあるが、庁舎の配置の仕方では効果の指標も変わってくると思う。</li> <li>効果の部分は他の事項と並行して議論を進めるのか、Ⅰ・Ⅱが終</li> </ul>

	<p>わからないと議論を進めないのか。</p>
<p>行政管理課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中には並行して議論を進めるものもあると考えている。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>議会の検討委員会でも効果に関する意見があった。波及効果は大きな課題になると思うので、是非議論したい。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業費や財源ということも関係してくるのではないか。</li> </ul>
<p>行政管理課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算との兼ね合いもあるので、最終的には議会に諮りながら確定する形になる。</li> <li>本委員会では、特にⅠ・Ⅱについて意見をいただきたいところであるが、いずれにしても、Ⅰ～Ⅴまでを通したプラン全般についてご意見をいただくということに変わりはない。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「Ⅴ.本プランの推進方策」について、厚生会館地区への一括配置を除いた場合、事業が広範囲に及ぶ。そうすると、提供するサービスの場が事業のフェーズごとにかなり変わってくる。</li> <li>フェーズごとにどういうふうに対応するのかということも合わせて考えていく必要がある。</li> <li>ここで議論するのは完成形になると思うが、事業を進める中で、場所場所で内容が変わってくる。Ⅴについては、我々が気付いたところで意見を挙げればよい。</li> </ul>
<p>行政管理課長</p>	<p><b>(2) 新しい市役所のあり方について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回委員会でもいただいたご意見を踏まえ、3つの視点から検討の軸を整理した。</li> </ul>
	<p>(資料2「新しい市役所のあり方(案)について」に基づき説明)</p>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「開かれた市役所」はある程度イメージできる、議会についてはどのように考えているか。</li> </ul>
<p>行政管理課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>議会でも委員会を設置し、検討を進めると聞いている。市民からは、議会も同じ市役所に見えると思うが、実際には行政と議会は一定の距離を保つものであり、議会側の議論を待ちたいと考えている。しかし、議会に対するイメージがあれば開陳していただければ</li> </ul>

<p>委員</p>	<p>ればありがたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会内に「新しい市役所調査検討委員会」を設置し、中心市街地に市庁舎を整備するにあたり、あるべき新しい市役所、時代に即した市議会のあり方の2本の柱を中心に検討を進めていくこととしている。</li> <li>・ 前回の委員会での議論の一部を報告したい。1点目は、一極、分散配置のいずれが望ましいのかは、協働、公共サービス、効率性、支所のあり方を含めた様々な切り口から議論を深めてはどうかという意見があった。</li> <li>・ 2点目は、新しい市役所が目指す効果の根本は、中心市街地の活性化だろうという観点、さらに中心市街地及び合併市町村への波及効果を検証することができるような視点で検討していきたいという意見があった。</li> <li>・ また、市役所だけでは活性化の効果が低い、いろいろな要素を含めて活性化していくことを議論していくべきではないかという意見があった。</li> <li>・ 3点目は、協働について。協働が売りになっているが、定義が曖昧であるので、きちんと定義すべきだろう、それと同時に目標も整理していくことが必要だという意見。</li> <li>・ 協働というのはあくまでも手段であるので、何のために協働するのかという点を、きちんと示すべきである。</li> <li>・ その中で1つ危惧されるのは、協働には下請化という要素もあるので、こうした点も議論を深めていきたいということである。</li> <li>・ また、たらいまわしのないサービスのあり方をきちんと展開していきたい。行政サービスをカウンターサービスとバックヤードサービスに整理した上で議論を深めていきたい。</li> <li>・ 効率性の問題についても、少なくとも経済市民、生活市民の2つをきちんと整理した上で、議論を深めていきたい。</li> <li>・ 「新しい市役所調査検討委員会」では、本日皆さんからいただいた意見を報告し、新しい視点を入れながら議論を行い、整理・精査し、その上で再度ご報告申し上げたい。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新しい市役所のあり方について、より行政と市民が近づくには、開かれた、気軽に立ち寄れる、あるいは寄りたい市役所であることが必要。</li> </ul>

<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まち交大賞も受賞した。新しい市役所ができた暁には、再度市民に評価してもらえる魅力ある市役所にならなければならない。</li> <li>・ まちなかへの市役所移転については、合併市町村からのアクセス、サービスという点を中心に考えていかなければならない。</li> <li>・ コンパクトな行政のあり方を基本に、市の中心となるシンボリックなものが中心市街地にあっても良いと考えている。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新しい市役所の「新しい」という言葉は、建物が新しいという意味ではなく、新しい「仕組み」を作ろうとする意気込みだと感じている。</li> <li>・ 「開かれた」というところが重要。分散など空間配置の問題もあるが、開かれた市役所というのはどういったものなのかというコンセプトを考えながら、具体的に描いていくのではないか。</li> <li>・ 第1回の委員会の際に、「議会」という言葉も明示して欲しいという意見を出した。議会こそ開かれるべき。</li> <li>・ 議会制民主主義のもと、議員は市民の代表であり、議会こそ市民に近いところにあるべきと考える。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>神戸市役所では、レストランが10時まで営業しており、神戸牛をメインに提供している。もう少しフレキシブルに考えて、シンボリックなものがあっても良いのではないかと。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>何をもって「開かれた」ということになるのか、もう少し明確にしていく必要がある。「協働」についても、具体的な内容を整理しておかなければいけない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近に感じる、気軽に立ち寄れるということを考えていたが、市民が気軽に立ち寄れたところで、市の職員側からすると迷惑なのではないかと思う。</li> <li>市民は何を求めているかという点、気軽に立ち寄れることではなく、そこに行くと市民が満足できるサービスが受けられるということではないか。</li> <li>例えば、ある病院で様々な科をたらいまわしにされた。ところが、ある町医者に相談したところ、その先生が様々な分野の専門医をコーディネートしてくれ、大変助かった経験がある。</li> <li>コーディネーターのような役割ができる窓口を置くべきであり、気軽に立ち寄れる、開かれたということを打ち出すよりも、もっとシンプルに市民が満足するにはどうすればよいか、市民を満足させるサービスとは何かということを重点に考えていくべきではないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>「協働」という言葉が出ているが、協働ということを実際にこれまでやってきたかという点で疑問。「協働」を広い意味で捉えるべきか、狭い意味で捉えるべきかによっても大分違う。</li> <li>「市民力」という言葉を使っているが、市民力と市役所がどう協働するのかといった観点で、ある程度約束事を決めておかなければ、後でまとめられなくなるのではないかと。</li> </ul>
行政管理課長	<p><b>(3) 新しい市役所の目指すべき姿と実現に向けた検討について</b>  (資料3「新しい市役所の目指すべき姿と実現に向けた検討について」に基づき説明)</p>
市民活動推進課長	<p>(市民協働部会の検討内容について、資料3のP2、資料4「長岡市における「市民との協働」とは」に基づき説明)</p>
市民課長	<p>(サービス部会の検討内容について、資料3のP3に基づき説明)</p>

<p>危機管理防災本部 特命主幹 情報政策課長 用地管財課長</p>	<p>(防災部会の検討内容について、資料3のP4に基づき説明)</p> <p>(IT関連部会の検討内容について、資料3のP5に基づき説明)</p> <p>(施設整備部会の検討内容について、資料3のP6に基づき説明)</p>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先ほど出された意見のうち、「楽しい」、「面白い」といった観点で市役所内部の検討は行われていないようだ。また、「開かれた市役所」も。</li> </ul>
<p>行政管理課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後皆さんからいただいたご意見を踏まえ、内部で検討を進めたいと考えている。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「実現に向けた検討の方向性」は、今からでも出来ること、体制や予算の関係で来年度からしかできないこと、平成23年度に完成する新庁舎でないとできないことに分けて欲しい。</li> <li>・ 新庁舎でなければ出来ないこととは、空間や施設・設備の問題であると思うので、そういう部分について焦点を絞ってもらえると、議論が進めやすくなるのではないかな。</li> <li>・ 市役所には、オフィス、窓口、相談、サービスという機能があるが、その機能の中で、この場所でなくては解決できない、もしくはこの場所に合った機能があれば、この敷地内に入れていくという考え方がよいのではないかな。</li> <li>・ 資料Bの補足説明であるが、厚生会館地区ということで、市役所に屋根つき広場とアリーナを併設する。「楽しさ」などのサービス機能については、アリーナと合築することの良さ・メリットを最大限活かせると思う。</li> <li>・ 「中心市街地構造改革会議」の提言では、面的にまちなか型公共サービスを提供できないかという発想をしている。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会の検討委員会が設置され、様々な地域の議員も入って議論をしていると思う。</li> <li>・ 是非、各地域の方々に、新しい市役所にはこういった良さがあるので是非来て、活用して欲しいというような発信ができたらいかなという希望がある。</li> <li>・ 新しい市役所の良さが市民に分かるように伝えていただきたい。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民団体との協働を推進していくことは大いに賛成。しかし、行政には平等性が求められる一方、市民活動は特定の分野・部分で切り込んでいるという組合せの中で、行政側の市民への平等性の受け止めと、独自性というところを上手く組み合わせていかなければ、逆に誤解を生じることもある。</li> <li>・ 市民団体と「協働」という言葉の捉え方などを十分にすり合わせておいた方がよいのではないか。</li> <li>・ 特に、市民活動を行っている立場から見ると、行政から委託を受けるといった形になった時、行政とNPOが平等だとはいっても、その関係を維持することは非常に難しい。こうした点を加味しながら検討を進めていくべきではないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体的に議論を進めていけば、そうした問題が出てくるのではないか。例えばサポートセンター。現在は市民活動センターで行っているが、もう少し広い意味でのサポートセンターを作ってもらい、そこに色々な人が集まって議論する必要がある。</li> <li>・ 本日はこうしたことを議論するのではないかとと思って出席したが、基本的な問題の議論ということで、次回の議論に期待したい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「協働」という考え方について、行政経営改革プランの中でどのように位置づけているかという点、「市役所は経営マネジメント・経営資源をスリム化する一方、市民、地域、企業、NPOというのは、市民力・地域力を結集して市民満足の向上に努めていく」、「市役所側が市民サービス・情報を提供し、それを受けて参画と評価を市民が行っていく」とされている。</li> <li>・ プランの4つ目の柱に、パートナーシップの推進ということで、「市民が主役の行政をやっていく」とされている。そういう点では資料4と整合していると思う。</li> <li>・ 市役所の機能の中で1つ追加しておくべき点として、政策の立案・実施がある。市が上手くいくためには重要な役割。</li> <li>・ また、小さなことから政策に参加できる、市民が意見を言うとそれが市政の一部でも反映されるということが本当の協働の姿だと考えている。</li> <li>・ 「開かれた市役所」も良いが、議会としても市民へのアピール性が大事。議会で決まったことを市役所がやる、決まったことなのでやるということではなく、いかに市民にアピールしていくかを</li> </ul>

委員	<p>考えるべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会がない時は、市民が来庁して話を聞けるなど、是非アピール性、議場の有効活用も含め、議論に入れていただければと思う。</li> <li>・ 新しい市役所を作るということは、現状をよく見据えた上で、十分な議論が繰り返しされることが非常に重要。</li> <li>・ 資料に色々なことが示されているが、特に大事な点は、みんなが安心して生き生きと暮らすということが根底にあり、市役所と市民が一体になって新しい市役所づくりを目指すという点にあるのではないか。</li> <li>・ 私たちの世代が利用しやすいだけでなく、次代を担う若者たちの意見・夢を育てていくということを想定していくことが必要。</li> <li>・ 今後、長岡市は今以上に国際交流が盛んになってくると思う。現在も外国人が増えているが、そうした中で外国人にも優しい対応が必要ではないかと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民サービスの部分で、時間を大切にする市役所、組織の垣根を越えたワンストップサービスは非常に大事だと思う。</li> <li>・ 防災については、素早く対応できる市役所というのは、機能はもちろん住民の訓練というのも非常に重要。この点も強化してはどうか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会がいかに開かれているかということは非常に重要。それをどのように実現するかということを経済的に考えなければならない。</li> <li>・ 議会・議場のあり方について、これからもご意見をお聞きしながら検討を進めたい。</li> <li>・ ハードとしての市役所の建物に、機能あるいは行政組織のあり方といったソフトの部分を含めて議論しなければならない。</li> <li>・ 「協働」についての理念もきちんと整理していくべき。行政のあり方や職員のあり様も含め、市民や団体の皆さんと関係してくる部分もあるので、市側が「協働」というものに対する考えを出した上で、議論すべきではないかと考える。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「新しい市役所のあり方」について、楽しい、面白い、わくわくするといったことが必要なのではないかと個人的には感じた。</li> </ul>

<p>委員</p> <p>行政管理課課長</p>	<p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後は1時間半という会議時間を延長してもらいたい。</li> <li>・ 3回目以降、2時間以上時間を割けるよう設定する。次回は7月11日15時からの開催としたい。</li> </ul> <p>5 閉会</p> <p style="text-align: right;">(以上)</p>
<p>9 会議資料</p>	<p>別添のとおり</p>